

東京医科大学 英語

2025年 2月 5日実施

第1問

1. ④ 2. ② 3. ④ 4. ④ 5. ③ 6. ③

[解説]

1. worse の比較級があるため、比較対象としての **than** が必要。⑤を選ぶ人もいるだろうが、そもそも文構造が **be worse off** で完成しているため、名詞節は不可能。
2. owe A a favor 「A に恩義がある」
3. バス料金→運賃であるため、fare 「運賃」。お金に関連した語彙の識別をしっかりと押さえておきたい。
4. 前置詞付き疑問詞節。On the ground that SV ... などの表現が分かっているならば、on what ground から名詞節が始まることは想像にたやすい。
5. 命令文に対する条件節であることから、should が正解。
6. 「考えが人に思いつく」というタイプの語法。“S(考え) V[occur to / strike / hit] O(人)” が分かればよい。なお、“S(人) V[come up with / think of / hit on] O(考え)” である。

第2問

- 7-8. ③-② (④③⑥⑤②①)
9-10. ⑤-① (④⑤③②①⑥)
11-12. ②-③ (④②①⑥③⑤)
13-14. ④-② (③④⑥⑤②①)
15-16. ⑥-① (④⑥③②①⑤) *
17-18. ⑥-⑤ (③⑥①④⑤②)

[解説]

- 7-8. She thought the mistake was the last one she wanted to see happen.
関係詞省略と知覚動詞の語法(see O do ...)がポイント。
- 9-10. Most students can answer almost all the questions with no difficulty.
「ほとんどの~」の表現を4パターン覚えているかがポイント。
(most / most of the / almost all / almost all of the)
- 11-12. So beautiful a view was it that I stood in awe for several minutes.
“so 形容詞 a 名詞”の語順、so that 構文の倒置(疑問文の語順にある)がポイント。
- 13-14. Her advice turned out to be of considerable help as the project progressed.
of +抽象名詞の用法がポイント。
- 15-16. I like the way jokes help ease the tension.
the way SV... / help の語法がポイント。
*上記は ease を他動詞ととり「冗談が緊張を和らげるのに役立つ」という意に解釈したが、仮に ease を自動詞ととる場合、I like the way jokes help the tension ease. という語順も原理上は可能である。これは別解になり得るのではないかと。ただ、用例として前者の方が圧

倒的に多いこと、緊張がひとりで和らぐのではなく jokes が能動的に作用して緊張を和らげるという意味に解釈の方が自然と考えられることから、上記を正答とした。

17-18. The choices we make have a lot to do with the outcome.

have a lot to do with ～ 「～と大いに関連がある」

第3問

19. ③ 20. ③ 21. ② 22. ④ 23. ④ 24. ② 25. ③
 26. ③ 27. ③ 28. ⑤ 29. ①

[解説]

19. **cognitive motor dissociation** という用語は第5段落第3文に出現する。この文の“this”に注目して前文を見ると、「241人中60人の患者が、頭の中ではまだそれらのタスクをこなすことができるという証拠があった」とあることから、身体的にはそういった動きができず意識不明状態に見えても脳内には意識がある状態を描写した③を選ぶ。

20. 第15段落での **Dr. David Greer** の発言が、**one limitation of the study** に言及していることに注目する。コロン以降の内容、すなわち患者の受傷や脳機能障害のレベルに差があったということを述べた③が正しい。

21. 第19段落での **Dr. David Greer** の発言を参照すると、**traumatic brain injury** は6ヶ月ないし12ヶ月後まで遅れて驚くべき回復を遂げる場合があることが分かるので、それを言い換えた②が正しい。

22. ①は第1段落の内容に合致。②は第8段落の内容に合致。③は第13段落の内容に合致。④は、第23段落で確かに **brain implants** や **neuromodulation** が “the next wave of treatments” であることは述べられているものの、これを **currently** 「現在」と言うのは不適切であるためこれが正答。

23. **heart attacks** 「心臓発作」や **strokes** 「脳卒中」は、**these injuries** 「こうした(=脳の)受傷」の “sources” 「源、原因」であると考えられる。

24. 「その脳内でのタスクは、言葉での合図に身体的に反応できるほど回復した患者ですらできない場合があるほど [] であった」という文脈から、**demanding** 「大変な努力を要する、厳しい」を補う。**enough that** 構文。

25. 空所直前、第10段落の **Schiff said 1 in 4 patients is likely a conservative estimate** 「患者4人に1人というのは、おそらく控えめな見積もりである」という記述に着目する。この「患者4人に1人」というのは、19. の解説での述べた通り「241人中60人の患者が、頭の中ではまだそれらのタスクをこなすことができるという証拠があった」ことを踏まえた表現である。そして、第9段落ではそのように脳内では意識のある患者が、ただ意識を表明する手段がないというだけで誤診される危険性を示唆していることから、空所には **missed** を補い、「私たちは人々を見落としてしまった(=実際には意識のある患者を見落としてしまった)」とすれば文脈的に整合する。

26. この段落も、MRI の助けが得られないために実際には意識のある患者を見落としてしまうリスクについて述べた箇所であるので、**falsely assume there's no hope for improvement** 「回復の望みがないと誤って思い込む」とすればよい。

27. これまで、実際には意識のある患者を見落とすリスクについて述べてきたのとは逆に、「患者に意識があるからといって、それはいずれ正常な生活に戻れるであろうという [] ではない」とあることから、**guarantee** 「保証」を補えば文意が通る。

28. **if not ~** は「~ではないにせよ」という譲歩の慣用表現。**many if not most** で「大半ではないにせよ、多くが」ということ。

29. **think about ~** 「~について考える」

第4問

a.

30. ⑤, ⑥, ⑩, ⑫

b.

31. ③ 32. ③ 33. ② 34. ③ 35. ④ 36. ①

c.

緊急の場合に子どもを連れて出勤できるという選択肢があることで、親や保護者は安心感を持つことができる。

[解説]

30.

⑤「東京都庁が制度を導入した目的は、子どもを持つ職員を支援することによって、都庁が労働市場でより優位に競争できるようにするためだった」→第7段落最終文に一致する。

enhance competitiveness in employee recruitment の言い換えを見抜きたい。

⑥「地方自治体の役所の中で、豊明市は、職員が子どもを職場に連れて出勤することを認めた先駆けであった」→第8段落第2文に一致。**The first municipality ... was Toyoake** と述べられている。

⑩「つくばみらい市役所において、カウンターの表示は、子どもの存在が市役所公認の意図的な施策であると明示することを意図しており、来庁者からの誤解や懸念を防止している」→第13段落全体の内容に一致。**the municipal government's initiative so that citizens visiting ...** の言い換えを見抜きたい。

⑫「ミツハタ氏によると、職員は社会人としての態度を保持し、職場を保育所として活用することのないようにすることがきわめて重要である」→選択肢前半は第15段落第1文、選択肢後半は同第2文の内容に一致する。

31. **urgent** 「喫緊の」に近いのは、③**pressing** 「差し迫った」。

32. **temporary** 「一時的な」に近いのは、③**provisional** 「暫定の」

33. **prospective** 「将来の」に近いのは、②**potential** 「潜在的な」

34. conditions 「条件」に近いのは、③requirements 「条件」

35. delicacy 「気遣い」に近いのは、④sensitivity 「配慮」

36. prohibiting 「～を禁止する」に近いのは、①banning 「～を禁止する」

c.

- ・ Having から emergency まだが動名詞主語である。「～という選択肢を持つことは」
- ・ in case of emergency 「緊急事態において」
- ・ allow O to do は、頻出の無生物主語構文であり、「O が～するのを可能にする」。
- ・ a sense of security 「安心感」。

【総評】

昨年度と同様、文法・語法＋語句整序＋長文 2 題の合計 4 題構成であった。大問 1 は昨年度は文法・語法というよりほぼ語彙の問題と化していたが、今年度は再び文法色の強い問題へと戻った。長文は 2 本とも医学部としては非常に平易な部類であり、過去に存在した 20～30 択の内容一致問題のような、数多の受験生を苦しめてきた形式の長文問題もめっきり姿を消すなど、ここ数年の易化状態をキープする形となった。一次合格ラインは、75%程度か。

昭和大学医学部[Ⅱ期]模試 2.20(木)

科目 英/数/化/生/物 申込締切 2月17日(月) 20:00

会場 東京/大阪/福岡

聖マリアンナ医科大学[後期]模試 2.23(日)

科目 英/数/化/生/物 申込締切 2月20日(木) 20:00

会場 東京/大阪/福岡

対象 高3生・高卒生対象

料金 6,600円(税別)



※内容は変更になる場合がございます。最新の情報はホームページよりご確認ください。↗

医大別直前講習会 受付中

後期・Ⅱ期

- 獨協医科大学
- 聖マリアンナ医科大学
- 日本大学
- 埼玉医科大学
- 昭和大学
- 日本医科大学



◆各講座の時間割・受講料・会場についてはHPでご確認ください。↗

本解答速報の内容に関するお問合せは



医学部専門予備校
YMS

☎ 03-3370-0410 <https://yms.ne.jp/>
東京都渋谷区代々木 1-37-14

医学部進学予備校

メビオ ☎ 0120-146-156
<https://www.mebio.co.jp/>

医学部専門予備校

英進館メビオ 福岡校 ☎ 0120-192-215
<https://www.mebio-eishinkan.com/>

メルマガ登録またはLINE友だち追加で全科目を閲覧

メルマガ登録



LINE登録

